((((チューモくん日記 #これも教材に~地球儀~

秋田県立視覚支援学校オリジナルキャラクターのチューモくんです。

このシリーズでは、本校で教材として使ってきたものや教材になり そうなものを紹介していきます。

今回は、スマホやタブレットと連動して使える地球儀です。

「ほぼ日のアースボール」という地球儀があります。

球体の上には国境線も文字情報も何もない、のっぺりとした地球儀なのですが、 アプリと連動して、AR(拡張現実)技術によってタブレット等の画面上に様々な情報を提示します。



直径約15cmの地球儀に、タブレット端末をかざすと、ARで、画面上によく見知った地球儀が現れます。





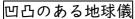


アプリを切り替えることで、様々な画像を見ることができます。



リアルタイムの雲の画像







国旗



SDGsに関する様々なデータ

理科の授業で I 週間分の雲の動きを確かめたり、社会科で、貧困率、進学率、G D P 成長率、森林面積の変化などの各種データを可視化したりと、様々な学習場面に活用できそうです。

この地球儀のよいところは、時折、アプリが更新されて、新しい情報が加わることです。ネットとつながる教材の強みですね。

触って確かめることはできませんが、画面をピンチアウトすることで拡大できる ので、弱視の子どもにとっても使いやすい教材です。

今年度、本校の小学部5年生では社会科の授業で活用しています。

ただし、画像だけでは、実感を伴った理解や知識の定着につなげることは難しいため、本校に以前からある、一抱えもある大きな立体地球儀を操作しながら、距離感や位置関係を確認しています。





授業のねらいや、児童生徒の実態に合わせて、教材を上手に 活用していきましょう。

